

つむら まさお
津村 正男

年初に思うこと

●基幹労連・事務局長

ご安全に！

お正月は、ご家族やご友人と健やかに過ごされたと思います。と挨拶するところですが、原稿を執筆しているのは12月はじめ。再び新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されている真ただ中、どのような年末年始になったのか…。

皆さんにとって、良い新年を迎えられ、2021年が穏やかで実り多き一年となるよう心から願うばかりです。

コロナ禍において

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、生活も環境も働き方も一変しました。東京での単身赴任生活も9年目となり、少なくとも月1回は神戸の自宅に帰っていましたが、今年は初めて帰るのを拒否（やんわりとですが）されたことがありました。コロナの影響です。

しかし、私などは良い方で、ともに単身赴任している出身元組織の役員は、奥様の仕事の関係もあり2月以来地元に戻れていないとのこと。お正月はどうされたのか…こうしたことも含め、在宅勤務や時差出退勤など、労働組合としては全く想定してない勤務環境を余儀なくされ、基幹労連が運動の基本としてきた「職場第一線の役員が直接組合員と向き合い“生の声で伝え、生の声を聴き、そして生の思いを伝える”組合員運動の原点」と定義しているJBU原点運動の取り組みにも大きな影響を与えました。

移動制限、外出自粛の中では集まったの会議も出来ず、持ち回り開催をしたりしましたが、改めて顔を見ながら直接話をする事の大切さを実感しました。今では、WEB会議の環境も何とか整い、不自由さや不便さは少し解消されましたが、アナログ人間としては今一つ馴染めませんし物足りなさを感じています。「新しい生活様式」慣れなければいけないのでしょうか…。

今こそつなげ 好循環！

新年としては、少し重苦しい書き出しになってしまいましたが、いよいよ春闘（基幹労連では「アクティブプラン（AP）」と言い、今年は「AP21春季取り組み」となります）が始まります。

基幹労連では、2年をひとつのパッケージとして取り組みを進めており、今年は、格差改善、年間一時金を中心に、部門・部会のまとまりを重視して取り組んでいくことを基本としています。

基幹労連に関係する多くの企業においても、米中貿易摩擦などによるグローバル経済環境の悪化に加え、コロナ禍の影響により国内外の急激な需要減退を受け、臨時休業・一時帰休の実施等を余儀なくされるなど大変厳しい状況にあります。こうした厳しい状況を乗り越えるためには、「感染症対策」と「経済の自律的成長」を両立していかなければなりません。そのためにも、今次取り組みは、雇用の確保を大前提に、労働条件の改善による



消費の喚起と拡大にむけて、2年サイクルにおける「個別改善年度」の取り組みとして、「人への投資」にむけた継続的な取り組みを進めます。

取り巻く環境は厳しいですが、将来不安を払拭し、組合員とその家族の安心・安定に向けた歩みを止めることはできません。AP21春季取り組みの成功に向け、相乗効果が発揮できるよう、「今こそつなげ 好循環」のスローガンのもと、基幹労連加盟組織全体が連携を密にした取り組みを展開したいと思います。

人を真ん中に！

今期の運動方針のスローガンは、「人を真ん中、軸をぶらさず、たゆまぬ前進」です。この「人を真ん中」は、私たちの労働運動のみならず、物事のすべての基本に据えるものであり、前述の「JBU原点活動」をはじめ政策実現活動の取り組みなど、あらゆる場面で求めていかなければなりません。

新型コロナウイルス感染症と共存しつつ、引き続き「労働運動の原点は職場にあり」を全ての運動の基本に置き、それを実現するための運動を推進するとともに、大きな課題である次代を担う人材の育成に取り組まなければなりません。多様化する組合員の意識を踏まえながら、組織力強化に繋げていきたいと思ひます。

また、人ということでは安全衛生活動は最重要課題です。私どもの基幹労連では、残念

ながら業務上の死亡災害が多発しており、加盟組織においては、労使一丸となり、教育、パトロール、物的対策、安全意識向上のためのPRなど、また産別としては、情報の収集と発信・共有化などに取り組んでいますが、なかなか歯止めがかからない状況にあります。

今朝まで、さっきまで元気だった大切な人が急にいなくなる、こんな辛く悲しいことはありません。どんな日常にも危険は潜んでいるものですが、一方で、防ぐことができるもの、備えることによって被害を軽減できるものも数多くあります。私たちが挨拶に使っている「ご安全に！」は、相手を思う気持ちと自らの誓いの念を込めたものです。そうした思いが届き、報われる年になればと思ひます。

結びに

昨年の寄稿でも書かせていただきましたが、組合役員としての私の初心は「こんな自分を役員として推薦してくれた方々の期待に応えたい」であり、今もそう思っています。

2019年9月から、基幹労連の事務局長として推薦していただき、信任をいただいたからには、少しでも加盟組織の皆さんの思いに応え、そしてお役に立てるように努めたいと思ひます。

今年も「初心忘るべからず」で活動してまいります。共に頑張りましょう！

ご安全に！！